

宗教哲学会 第11回学術大会

2019年3月23日(土) 9:30-17:30
龍谷大学深草キャンパス 21号館

個人研究発表

第1部会(21号館501教室) 9時30分～11時55分

1. 自然法爾について — 田辺元の宗教哲学の視点から
浦井聡(京都大学)
2. 意志と自己との関係性に対する西谷啓治の理解
— 『ニヒリズム』と『宗教とは何か』を手掛かりに
酒井梨帆(明治大学)
3. 鈴木亨の「存在者逆接空」の哲学とその射程
— 「行為の哲学」の構築の可能性
喜多源典(関西大学)

第2部会(21号館502教室) 10時20分～11時55分

1. 初期ハイデガーにおける宗教哲学と現象学
樽田勇樹(京都大学)
2. 非 - 存在神学的現象学のための素描
— 神学的転回とは異なる仕方フランス語圏の現象学を考える
長坂真澄(群馬県立女子大学)

シンポジウム(21号館603教室) 13時30分～17時

「浄土教の宗教哲学の可能性」

1. 親鸞教学と京都学派の交流する場所 — 曾我量深を基点として
名和達宣(真宗大谷派教学研究)
2. 浄土教の象徴的行為 — 親鸞の行論を探究する
杉岡孝紀(龍谷大学)
3. 宗教哲学はいま浄土教の何を問うべきか
氣多雅子(京都大学)

司会・コメンテーター：岩田文昭(大阪教育大学)

* 会員以外の方も、参加料500円でご参加いただけます。